米工 MAKERS

米工通信　　第９６号
令和４年２月４日
鳥取県立米子工業高等学校
地歴公民科

一昨年の、確か 11 月頃だったと記憶しておりますが、新型感染症が中国で発生したことを伝えるニュースが、小さく報道されました。当時の私の感想としては、「また SARS（サーズ）のように広がらんといいが…」程度の認識でした。それが今や、新型コロナウイルス感染症として全世界に拡大し、パンデミックとも言われるほどになってしまいました。不安な日々が続きますが、人類の歴史は、感染症との闘いの歴史でもあります。その歴史を捉え直すことで、現代の我々にも通用する教訓が得られるかもしれません。この機会に少し人類と感染症の歴史を振り返ってみましょう。

～感染症と人の歴史～

世界の歴史をひもといてみると、人類は太古から数々の病気・感染症と闘ってきました。有名なところでは、ペストや天然痘、コレラやスペイン風邪、マラリアなどが挙げられます（あるいは梅毒などの性感染症も含めるべきかもしれません）。14 世紀にヨーロッパで急拡大したペストは、「黒死病」とも呼ばれ、当時のヨーロッパ人口の、実に 1/3 が死亡したとも言われます。また第一次世界大戦末期に流行したスペイン風邪は瞬く間に各国に広がり、戦闘行為そのものを困難にさせました（第一次大戦終結の直接的要因とする学者もいます）。

これらの感染症は、人の移動すなわち、活発な人流の増加によって世界に広がって行きました。その契機となったのは、例えば 11 世紀末から 200 年に渡る十字軍の遠征や、16 世紀以降の大航海時代、近現代においては列強の植民地支配や世界大戦、あるいは国際貿易の進展などです。さらに、一度は克服したかに見えた感染症が、ウイルスの変異や耐性菌の登場によって再び猛威を振るうことも珍しくありませんでした（歴史的に人類が根絶に成功した感染症は、天然痘のみと言われています）。

これらの病気に対して、祈祷やまじないなど（つまりは「思い込み」）のたぐいが、全く無力であったことは、みなさんもご存知の通りです（一部地域では古い因習が続いているところもありますが）。人類は叡智を結集し、飽くなき努力と研究により積み上げた科学の力で立ち向かってきたのです。

一方で、無知や不安、誤った情報に踊らされた人々が、他者を迫害してきた側面があることも否めません。ペスト流行下のヨーロッパでは、各地でユダヤ人に対する憎悪が燃え上がり、多くのユダヤ人が弾圧・迫害されました。感染症に限らず、国内でも原爆の被爆後遺症に苦しむ人々や、ハンセン病患者に対する迫害・排除の動きなど（行政も一体となって行われたことは忘れてはなりません）、病気に苦しむ人々を、さらに偏見や差別が苦しめてきたのです。というより、潜在的にあった差別感情や意識が、感染症や病気という不安のなかで表に出てくると言ったほうが正確かも知れません。

コロナ禍においても、同様な傾向が見られます。感染者もしくはその周囲の人々に対する有形無形の攻撃が、「正しさ」という仮面をかぶって広がっています。それは、もともとその人が持っていた差別意識の表れかもしれません。繰り返しになりますが、感染症という世界的課題に立ち向かう武器は、広い意味での科学の力、すなわち正しい知識と理解です（科学者のみに限った話ではありません）。勝手な想像や憶測もまた、科学的とは言えません。現代に生きる我々が、コロナという未知の病気に対して、どのような姿勢で向き合うべきなのか、まさに今問われているのです。

地歴公民科　吉村諭志

米工 MAKERS

米工通信　第９７号
令和４年２月７日
鳥取県立米子工業高等学校

インターネットでラジオが聞けるradikoを御存知ですか？radikoが脳の学校（代表：加藤プラチナクリニック院長　加藤 俊徳）監修のもと、ラジオ聴取と脳の成長の関係を解明する実証実験を世界で初めて行いました。

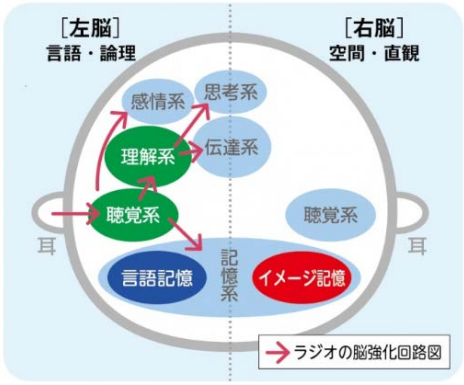
ラジオを聴くと頭がよくなる！



私が中高生の頃は、家庭でラジオを聞きながら勉強している生徒がたくさんいました。私の友人は今でも続く深夜の長寿番組の常連で、投稿するはがきがいつも読まれていました。

コロナ禍の影響で在宅勤務･自宅待機の方が増え、日中にネットでラジオを聞くradikoの利用者数が拡大しているそうです。

さて、この実験内容は大学生を対象に、「ラジオを聴き続けると脳にどのような影響を与えるのか」をMRI脳画像診断を用いて検証するというものです。



予想では、左脳の言語記憶の領域に影響があるものと考えていたようですが、実験結果は記憶系の脳が最大で2.4倍、聴覚系・理解系の脳が最大で2倍成長したことが明らかになり、「ラジオを聴く」という意図的な行為が、脳の成長に有益な働きをもたらしていることが実証されたそうです。

音を意識して聴いた結果、まず音の情報を聴覚系の脳で言葉として認識し、それを理解系の脳で意味として理解すると同時にその状況を映像化し記憶系の脳でイメージとして記憶します。その結果、音の情報からイメージを想像力で補うために脳全体が活発に働き、聴覚系以外の脳までが強化されたと考えられるそうです。

ところで、どのようなラジオ番組が特に脳を活性化させると思いますか？和歌山県立医科大学名誉教授の板倉徹先生の実験によると、天気予報が最も脳を活性化させることがわかったそうです。

ラジオを聴くだけで脳が成長するならば、積極的に聴きたいと思いますね。しかし、誤解をしてはいけないポイントがあります。勉強をしながらラジオを聴くことは勧めません。人は同時に二つの処理には集中できないので、ラジオを聴いている間は勉強には集中できません。入浴時間や掃除時間等のリラックスタイムに聴いてください。最近のスマートフォンは防水仕様も多いですから、ラジオを聴きながらのんびりバスタイムもいいですね。特に冬場はしっかりお風呂に浸かって体を温めることで健康の維持にもつながります。



校長　松川明義

米工 MAKERS

米工通信　第９８号
令和４年２月９日
鳥取県立米子工業高等学校
機械科（M 科）

課題研究の「マイコンカー製作」において、人が乗れるセグウェイのような１人乗りマイコンカーと競技用マイコンカーの２本柱に取り組みました。マイコンカーのことをライントレースロボットともいいますが、マイクロコンピュータに書き込んだプログラムによって自動走行する車のことです。

１人乗りマイコンカー



床に黒いテープを貼り、そのライン（線）をトレース（なぞり）ながら自動走行するロボットのことです。床が白色でしたので、ラインを黒色にしました。競技用のマイコンカーを応用して、人が乗って走るように研究しました。

研究目的

- ロボットのメカニズムを探求する
- 過去のノウハウを活かして、人が乗って走るマイコンカーを製作する
- ものづくりによる課題解決型教育を推進し、新技術への夢を育む

競技用マイコンカー

黒いコースに白いテープを貼り、そのライン（線）をトレース（なぞり）ながら自動走行するロボットのことです。下記の走行スピードを競う大会に出場しました。

ジャパンマイコンカーラリー２０２２中国地区予選会

１２月４日（土）、５日（日）に上記の大会が岡山県立倉敷工業高等学校で開催されました。本校からは、機械科課題研究班のメンバーが出場しました。コロナ禍により、団体戦は中止となり、個人戦のみ開催されました。次の２名が全国大会の出場権を獲得しました。さらに、ＭＩＣ同好会の２年生がBasic Class において８位入賞し、この生徒も全国大会の出場権を獲得しました。



結果

Advanced Class　２位　永井
　　４位　常森



ジャパンマイコンカーラリー２０２２全国大会

１月８日（土）、９日（日）に上記の大会が広島県立広島工業高等学校で開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の急拡大により中止となりました。大晦日まで練習、年始も１月３日から再開し、有意義な調整が続いていましたが、１月５日の練習が終わった時に急遽中止の連絡が入りました。情熱を傾けてきたことが報われず、選手・顧問一同、虚しさが込み上げてきました。２年連続で全国大会が無くなって喪失感が大きかったですが、頑張ってきた選手に敬意を表し、新たな進路での活躍を祈っています。最後に、全国大会出場の夢は後輩に託します。

機械科　中尾　浩

米工 MAKERS

米工通信　第９９号
令和４年２月１４日
鳥取県立米子工業高等学校

ラジオを聴いて脳の活性化にチャレンジしましたか。この話には続きがあるのです。

ラジオで散歩が脳に効く！

２月７日の米工通信第９７号で、ラジオを聴くと脳が活性化し頭が良くなることを紹介しました。ラジオを聴くときのポイントの事例がいくつかありましたので参考にしてください。



1　自分と年の離れたパーソナリティーの番組を聴き、自分と全く違う感性の言葉に普段から触れることで、柔軟な思考が身につきます。多くの人とのコミュニケーションが円滑になり、仲間が増えるチャンスが得られます。

2　パーソナリティーの声のトーンや大きさに注意して感情を推測しながら聴く事で、相手の感情をキャッチできる脳が鍛えられ、相手の感情の受取方が変わり、相手からのメッセージをより正しく理解できるようになるでしょう。同時に、会話で相手を怒らせてしまうことが減少します。

3　ラジオから流れる話しをノートに書きだすことで、集中力と正確な聴き取り、言葉を記憶する力がつき、何度も相手に聞き返してしまうことが減るでしょう。

ラジオを聴くことで脳を活性化することができるなら、それは学習能力を高めるだけではなく、「脳の老化防止」にも有効なはずです。

現在、認知症予防に効果があると科学的にはっきり認められているのは、中等度の「運動」だけのようです。そうであるとするなら、ラジオを聞きながら少し速めにウォーキングをするのが脳によさそうですね！

コロナ禍で学校が臨時休業や分散登校になるときがあります。不要不急の外出の自粛を求められていますが、ずっと家の中にいると精神的にしんどくなるときもあるでしょう。そんなときは人の少ない時間帯をみつけてラジオを聴きながら自宅の近所をウォーキングしてみると、脳が活性化されて良いリフレッシュになると思います。



ただし、両方の耳をふさがないようにして交通安全には十分に気をつけてください！

校長　松川明義

米工通信　　第１００号
令和３年　　２月１６日
鳥取県立米子工業高等学校
１学年担任団

米工 MAKERS

今だから伝えたいこと　～１年担任団からのMessage～

学年末考査まであと５日となりました。激励の意味も込めて１年生のみなさんに担任団からメッセージを送ります。

〈機械科〉　　～目の前のことを真摯に一生懸命に～

今年度も残りわずかとなりました。新型コロナウイルスの影響で、色々なことを我慢しながら学校生活を送ってきことでしょう。そして、その状況はもうしばらく続くのかもしれません。多かれ少なかれ、本来の成長の機会を奪われたことになっているのかもしれません。

だからこそ、目の前にあることを真摯に一生懸命に取り組んでほしい。

本気になってやるからこそ、それが自分自身を高められる道になると思います。

出来ない理由を探さない。出来る工夫をしよう。

いつでも、どこでも、どんな時でも。

機械科１年　担任　中川　智志

〈電気科〉

「時は金なり」とは、時間の大切さを意味することわざの一つです。時間は大切なものであり、金銭と同等の価値がある。だから、時間をむだに費やしてはならないというような意味ですよね。

誰でもお金は大切なものだと思うでしょうが、時間についてはその大切さを忘れがちになります。ネットサーフィンや動画視聴やゲームなどで時間を浪費しても、時間はゼロになるわけではないので、大切さを意識しないのだと思います。

でも、今という時間は二度とおとずれることはありません。有効に使ってください。

電気科１年　担任　岡田　直道

〈情報電子科〉　～ちりとりをする人間になってほしい～

もう２月。あと少しでピカピカの１年生が終わってしまいます。様々な夢と希望を持って米工に入って来たと思いますが、コロナによって行事もなくなり高校ってこんなもんか…なんて思わないでくださいね。これからですから！

さて、米工生の多くは卒業後就職します。だから米工の先生方は皆さんに対して「即社会」を意識して接しています。どこに出しても恥ずかしくないように！ある意味親心に似た感じです。そんな中、常々思っていることがあります。掃除時間になって、「はい掃除～！」と言うとみんなホウキを持ってしっかり掃除をしてくれます。そして最後、ゴミが集まりますが、誰も「ちりとり」を持って来てくれません。そんな時、スッとちりとりを準備して構えられる気が付く気が利くような人間になってほしいなと…。もうすぐ２年生。「即社会」に向けてしっかり準備して行きましょう！　　情報電子科１年　担任　桑名　伸一郎

〈環境エネルギー科〉

米工での１年間はいかがでしたでしょうか、新型コロナウイルスの影響で学校行事や部活の大会が中止や縮小されてつまらなかったのではないでしょうか？　でも学校祭も実施できました、来年度こそは完全実施したいですね！！まもなく２年生になります、２月の米工ＭＡＫＥＲＳにも書きましたがそろそろ進路について考え始めてください。でもその前に学年末考査があります、しっかり勉強して赤点をとらないようにしてください。

環境エネルギー科１年　担任　勝部　展司





〈建設科〉

行事の中止や縮小、臨時休業や分散登校などがあり、色々な制限を受けた今年度の１年間がもうすぐ終了します。

３年生になって就職や進学する際の面接試験で、**「高校生活で頑張ったことは何ですか？」**とよく質問されます。

残りの学校生活で、勉強、部活、資格取得など何か一つでも良いので頑張って取り組んだと言えるものを見つけてください。それは与えられるものではないので、難しくても自分で見つけるしかありません。

まだまだ多くの制限が続くかもしれませんが、皆さんの高校生活が充実したものになることを願っています。

建設科１年　担任　杉本　環

～ Never put off till tomorrow what you can do today. ～

１年前の今頃を思い浮かべてみてください。推薦入試を終えて、または一般入試を控えて必死の努力を続けていたと思います。「米工に入学したら、ぜひ○○してみたい。」その希望や夢は実現しましたか？ まだ途中の過程ですか？ そんなことは忘れてしまいましたか？「初心忘るべからず！」今だからこそ初心に立ち返って、努力を惜しまず、自分のなすべきことを果たしてください。努力を怠って自分の望まない結果を迎えたとしても、自分以外に誰も責めることはできません。まずは自分に今できることからやっておきましょう。「今日できることを明日に延ばすな」です。

１学年主任　笹川　恭子